

## 令和2年度

### 第 50 回 三泗野球少年団春季大会

#### 開 催 要 項

- 主 催 三泗野球少年団育成者協議会
- 主 管 三重県軟式野球連盟四日市支部
- 後 援 四日市市 三重郡各教育委員会  
四日市スポーツ少年団 三重郡各スポーツ少年団
- 期 間 令和2年2月16日～4月5日
- 会 場 開会式 霞第一野球場  
予選リーグ 各ブロック単位で準備  
閉会式 霞第一野球場
- 開会式 令和2年2月16日(日) 午前8:30～ 霞第一野球場
- ※ブラカード(協議会作製の物)を持参し、原則としてユニホーム・スパイクを着用する事。
- ※8:00までに集合する事。
- ☆選手宣誓 抽選番号①番を引いたチーム
- ☆入場行進 前年度優勝、準優勝チーム(中部橋北・川島)を先頭に抽選番号順に入場行進を行う。各チームは係員の指示に従い速やかに集合する事。
- 閉会式 令和2年4月5日(日) 霞第一野球場  
準決勝・決勝(準決勝第一試合は9:00開始) 霞第一野球場
- 参加資格 四日市市及び三重郡に在住する小学生(同一学校区一球団)により編成された球団又は、三泗野球育成者協議会で認めた球団とする。
- 登録選手 1球団 10名～24名
- 参加費 1球団 5,000円
- 試合方式 1. 4ブロック制のリーグ戦方式とする。  
2. 各ブロックの上位4位チームにて決勝トーナメントを行う。  
3. 決勝トーナメントの組み合わせは後日抽選会を行う。  
4. 試合当日、雨天の時はグラウンド提供チームと各ブロック長が決行・待機・中止を決める(中止の場合は、事務局長まで連絡する)。  
5. 新人大会のベスト4(保々・内部・楠・羽津)の4チームをシードとする。
- 表 彰 上位4チーム(優勝・準優勝・3位)に賞状を授与する。

## 2 春季大会 試合方式及び試合規則

1. 本大会は、野球規則及び競技者必携を順守する。
2. 各ブロックにブロック長を置き、ブロック長の指示に従って予選リーグを行う。
  - ・ブロック長は、会場・審判・組み合わせ等が決まったら事務局長までメールで送信し、各チームへは送信しない。（各チームへは事務局長から送信します。）

【送信先：牧野重樹 PCアドレス qqb74h3c9@ccnetmie.ne.jp】
3. 予選リーグは3月15日までに消化すること。
4. 予選リーグは延長を行わず、順位決定は下記の順で決定し、上位4チームは決勝トーナメントに出場する権利を得る。
  - ★順位の決定
    - ①勝ち点（勝：3点、引き分け：1点、負：0点）
    - ②勝ち数
    - ③勝者（直接対決による勝ちチーム）
    - ④得失点差
    - ⑤得点が多いチーム
    - ⑥失点が少ないチーム
5. 試合は、7回戦もしくは1時間30分とし、サスペンデッドゲームは行わない。
  - ・準決勝、決勝戦は時間制限なしとし、ボール回しは可とする。
6. コールドゲームについて
  - ・予選及び決勝トーナメントは、3回以降10点差、5回以降7点差とする。
  - ・決勝戦のみ5回以降7点差とする。
7. 時間切れ（1時間30分）の場合
  - ・先行が勝っている場合及び同点の場合は、その回の終了時点。
  - ・後攻が勝っている場合、
    - 表の攻撃の時、時間切れになった場合は、先行の攻撃が終わった時点。
    - 裏の攻撃の時、時間切れになった場合は、時間になった時点。
8. 試合間隔は20分、シートノックは5分とする。
9. 試合球はケンコーJ号ボールを使用する。
10. 試合開始の1時間前には、必ずグラウンドに集合している事。（審判も含む。）
11. 審判への抗議は、原則として認めない。但し、ルール解釈上の問題については監督が行う。
12. 試合結果は、各ブロック長が責任を持って記録しPM5:00までに広報担当まで連絡する。（連絡先：広報 清水 武 携帯 090-6464-5486）
13. 当日の試合チームは、各グラウンドの準備に協力する。
14. 相互審判上での注意事項
  - ・審判は、1回表終了時点で相互のチームに試合開始時間を報告すること。
  - ・相手チームや審判員に対する聞き苦しい”やじ”は厳禁とする。
  - ・スタンドでの自チーム側の応援の”やじ”もチームの責任とする。
  - ・メガホンは1個のみ監督もしくはコーチが使用できるものとする。（その他は不可）

- ・抗議による試合中断のロスタイムは5分を限度とし、4氏審判の協議結果には従うこと。
15. 審判員の服装について
- ・運動の出来る服装（帽子・長ズボンの着用）「ユニホームはだめ」
  - ・運動靴の着用（草履等は禁止）
  - ・首にタオルを捲く等見苦しい服装の禁止
16. 球場入り後について
- ・監督（30番）、コーチ（29番・28番）と選手のユニホーム、シューズは同じものを使用すること。
  - ・裾の広いストレートタイプのパンツは着用禁止とする。
  - ・グラウンド内には、監督、コーチ（ユニホーム着用者）以外は入らない。  
ただし、監督・コーチが不在の場合は代理を認めるが、ユニホームは必ず着用のこと。
  - ・グラウンド内では、フリーバッティングはしないこと。（相手チームの迷惑になるため）
  - ・ベンチ内での携帯電話の使用は禁止
  - ・ベンチ内では禁煙。（試合会場では喫煙コーナーを設け、指定場所以外は禁煙にする）
17. イニング間の投球練習で、控捕手が低学年の場合は、試合に出場している野手が代わる  
ことができる。但し、マスクは被る事。
18. オーダー表の提出枚数は、自チーム分を含め予選リーグ3枚、決勝トーナメント4枚とし、  
準決・決勝戦は5枚とする。（準決・決勝戦は開催会場によって枚数が異なる。）
19. 投手の投球イニングについて
- ・一人の投手が一日に投げることの出来るイニングは7イニングまでとし、特別延長を行う  
場合に限り、最大9イニングまで投げる事が出来る。ただし条件として、特別延長の直  
前のイニングを投げ切った投手に限り、一日最大9イニングまで投げる事が出来る。
20. 決勝トーナメントについて「3月22日、予備日は3月29日」
- ・予選リーグの上位4チームにより決勝トーナメントを行う。
  - ・決勝トーナメントの抽選会は、後日開催する。
  - ・延長戦は7回または1時間30分終了時の打順を変えないノーアウト一、二塁で最大2  
回までとし、決着がつかない場合は抽選により決める。
21. 抽選会後の選手登録は認めない。